

消防団長紹介



池田市消防団 団長 野沢 光典

大阪府の北部に位置する池田市は、山や川に囲まれた自然豊かな町でありながら、都心（大阪梅田）から20分と交通の便にも恵まれています。

また、古くから丹波地域との交通の要衝となり、農作物の集積所として栄え、織物や酒造り、細河地域の植木等の様々な文化を育んできた歴史ある町で、インスタントラーメン発祥の町でもあります。

池田市消防団は、明治22年4月町制実施の際、池田町消防組を結成。明治27年11月消防組規則公布により公設池田町消防組を設置。昭和14年10月警防団令公布により池田市警防団と改称、昭和22年8月消防団令公布により池田市消防団を発足（定数150人、5ヶ分団）しました。昭和29年4月消防団員定数を150人から180人に条例改正、昭和56年4月組織改正を行い3方面隊7分団としました。令和4年4月には消防団員定数を180人から200人に条例改正し、女性消防団員を創設しました。

野沢団長は、昭和63年5月1日に入団され、平成25年4月1日神田分団長、令和2年4月1日には副団長、令和6年4月1日に団長に任命されました。

池田市消防団では12年に1度、ポンプ車操法の全国大会に繋がるチャンスがあり、そのチャンスが平成30年度に巡ってきた際、全国大会への出場を掛け仕事などで忙しい合間を縫って、50回にも及ぶ訓練を重ね、大阪府大会に臨んだところ、結果として残念ながら全国大会への出場は叶いませんでしたが、この訓練で培われたチームワークは災害現場でも役立つものだと改めて思ったことが、これまでの消防団活動において特に記憶に残っているとのことでした。

野沢団長は常に沈着冷静で温厚な人柄で「地域の安心・安全を守りたい」という強い意志をもっておられます。

最後に野沢団長から消防団に対する思いを語っていただきました。

『各地で自然災害等が頻発する中、地域防災力の中核を担う消防団に求められる役割は、益々大きくなっていくものと思われまます。「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命のもと、これからも市民の皆様が安心・安全に暮らせるよう、日々励んでまいります。』